

ニューロエイジのアメコミ情報誌

スラッシュ

SLASH!

WOODMOUNT BOOKS

コミックマーケットプレイス特別号：8+

ヒーロー徹底解剖のブレイクン解説
ユタ・リン 来日記念インタビュー

MAN IN X 総力特集!



DOMINION!

MAN IN X
the Animated 速報

HV EARTHIANZ HEAVEN PROJECT

この雑誌は環境にやさしい合成紙を使用しています。

WOODSMOUNT
Assembled in OSAKA
C:1135HYSR-335HST
¥500.00

D & D AND IMAGIN FANTASY CROSSOVER HELLCROSS / WITCHQUEST

「Go to Hell, Sir!」

ご要望にお応えして、
日本語版発売決定！

日本語版特典として書き下ろし1本、
オットー・バルドーのインタビュー、
そして書き下ろし折り込みも収録予定。

特典タツプリ！

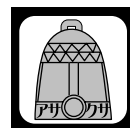
WOODSMOUNT 来春発売予定
予価 ¥3200円



ULTRAMODERNSTYLE

GO! GET ¥200M	W60M 所入屋	LoLLOTO™ M・N 橋上階	折りの優 M・N PromoTAX 10%	第2ター 中庭 200M	森林街 ¥100M	DAK ¥100M	魔王寺 ¥100M	河町通り ¥120M	MARC BASE ¥1400M
¥400M B1518-27/28 施工 ¥400M	¥350M PAV ¥175M ¥350M	DAK ¥200M	DAK ¥200M	LoLLOTO™ ¥300M	DAK ¥200M	LoLLOTO™ ¥300M	LoLLOTO™ ¥300M	LoLLOTO™ ¥300M	LoLLOTO™ ¥300M
JOIN TO MARCENARY	京橋モール ¥280M	水素発電所 ¥150M	M・N BEASTZ ¥260M	ジャンク堂 マーケット ¥260M	新瀬戸内空港 ¥200M	VIVA ¥240M	地下高級 住宅街 ¥220M	DAK ¥220M	茨城住宅街 ¥220M

UnPlugged



TOKYO ASAKUSA

**Tsukudappoi
Hobby**

DAK:044-47dsa-AD54-00*

MAN IN

vol.8+

MIXユニバース総力特集号

コミックマーケットプレイス増刊号も、今回で8本目。日本語版も発売され、N◎VAでの人気も絶好調、フェイトコミックス「Man In X」の総力特集です。ポップでシリアス、知的で野蛮、魅力あふれるヒーローとヴィランの織りなすFCでも異色の作品。メインライター“ユタ・リン”のインタビューを軸に、ヒーロー&シリーズ解説、映画化先駆け情報をまとめてみました。

恒例のStreetPriceGuideも充実の、コミマ限定8+です。

コイツに目を通してるフリークさんよ、いつも通り売り子にキャッシュを渡してやんな! ここで買わないとアトで泣き見



COMICMARKETPLACE
Special VERSION

ユタ・リン来日記念/Fate Comics
『インフィニティ・イミテーション』より

流
出
フ



カウントダウンの娘であり、
時を司る能力を持つ。

Penciler/
Yang "Mao" YUGAWA

TIME
CountDown II

新刊レビュー 02
Man of the Origin、666など

新着情報 04
PYTHON買収される?

MAN IN X特集 05

MO発売記念
ユタ・リン インタビュー
初心者のための

MIXユニバース講座 10

MIXヒーロー解説 11

アライアンス、ニュージェネシス

MIXヴィラン解説 20

有名無名、第4シリーズまでの悪役

Double SLASH! 24

StreetPriceGUIDE 28

広告

WOODSMOUNT 表2

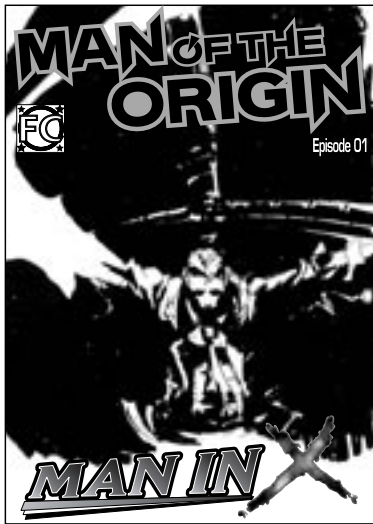
TSUKUDAPPOI HOBBY 表2

WOODSMOUNT 表4



BRAND NEW

SLASH Plus extra BrandNew Review



「Man of the Origin#1~#4」

FATE COMICS/WOODSMOUNT

オリジンのミニシリーズが出ると聞いて狂喜乱舞したのは私だけではあるまい。そして読んでみて憤慨したもの。

オリジンはMIXユニバースの中核的存在であり、カウ
ントダウンの導師^{グル}であり、さまざまな場面で名前が囁かれてきた。だがその誕生秘話は…つまり、オリジンのオリジンは…長らく謎に包まれてきた。

ファンの間では、さまざまな噂や通説が飛び交ってきたが、大別すると二説にわかれる。すなわち、宇宙人説と神説だ。

宇宙人説の最初のネタ元はCD#14（「Countdown to the Adventures #14:Time and Time again」）。災厄前にタイムスリップしたカウントダウンは、ベルナルド・ザ・クロノマスターと対決する。ここでベルナルドは「オリジンの正体を知っているのか？」と聞き返している。ベルナルドは、地球（アース・オリジン）とその平行世界のあらゆる時間に関する知識を持っているはずである。そこから、オリジンは、地球（と平行地球）の外…つまり宇宙から来たとする説が生まれた。この説は「Dynamo #28」でさらに強固になった。古代火星文明にオリジンの姿が発見されているのだ！

一方、神説のネタ元は「Seven Seals#18」。名作「Name of the God」にて、ホーリー・シンボルはドラゴンフライとと共に、アストラ界にある万神殿^{バンテオン}に召喚され、そこでダーク・アイコンと戦う。その審判に列席した多数の神、女神

の中にオリジンがカメオで入っているというものだ。だが個人的にはこれは疑わしい。なぜなら、ここにはベンシラーのジャンヌや編集長のデブだつて混ざっているからだ。

で、Man of the Originの出版に際し、私は宇宙人説に、友人のリチャードは、神説に、CDの定期購読1年分を賭けた。さてその結果は…

ご存じの通りである。イワン・シンケロビッチの絵とは思えない陰鬱なタッチ（歴史的には、彼が新たな画風を拓いた記念すべき号なのだが…）、鬱陶しいストーリー。気取った会話。どのページを見ても、オリジンは悩んでるか、孤独に歩いてるか、悩みながら孤独に歩いてるかのどれかだ。それに、明かされない謎！ なにせオリジンの私生活がメインに描かれているのに、彼の本名さえ出てこないのだ！

とはいえ今になってみれば、ユタ・リンのストーリーテリングは正当に評価できる。オリジンは一貫して贖罪者として描かれており、彼の運命は随所に暗示されている（3P…彼の生まれた農場をチェックしたまえ。羊飼いは何人いる？）。ラストのビルの倒壊は、くっきりと十字架を描いている。

オリジンの正体とは何か？ それは語られてはいけないものなのかもしれない。オリジンがいたから、MIXユニバースにヒーローが生まれた。オリジンはその名の通り、あらゆるヒーローの起源^{オリジン}である。

よって、彼だけはヒーローではない。ヒーローであってはならない。だからこそ、力の源の説明などいらないのだ。秘密のアイデンティティもいらないのだ。それを描いた瞬間に、MIXユニバースの一つの魔法が解けてしまうからだ。頭を冷やして考えれば、こうしか描きようがなかったのがわかる。年季の入ったファンボーイが何を言おうと、MOは、名作である。

…そうそう、ここで小耳に挟んだのだが、来年度のメジャー・クロスオーバーが決定したらしい。ワールド・ウィズ・オリジン…インフィニティ・イミテーション!! 現代のMIXユニバースにオリジンが生きていた世界を、過去、現在、未来に渡って描くそうだ。今度こそオリジンの正体が明かされるはずだ！

さあ、賭けに乗るやつはいないか？ （ノリー）

WOODSMOUNT / 250-4424-ADF-WM / ¥4,800



「666 Bloody Affects#1」 FATE COMICS \$3.00

「SEVEN SEALS」のスピノフとして始まり、ハードな描写を目指してシリーズ初のR指定で発刊された、この読み切りシリーズも今回で4回目。

今回ドミニオンに血祭りにあげられるのは、なんと可憐な少女!! (といっても、何百年も人間の血を啜り続けた吸血鬼なんだけどな) 相変わらず、描かれる血の量は半端じゃなくて、群がる吸血鬼達の胸に木杭を打ち込んだ時に吹き出るの血の量は、「そりゃ、出すぎだろ」とつつこむこと請け合いだ。

HELLCROSS / WITCHQUEST FATE COMICS \$2.85

“サバト”と呼ばれる13人の魔女達が治める魔術結社がある。彼女らは魔女の王より、世界に干渉する事を禁じられているため、自らの権力を保持するために、それぞれファミリアと呼ばれる人間を選び、魔力を与え使役する。

WITCHQUESTからは3代目の黒猫と蝙蝠のファミリアを従えたサリー・メイポールが、このクロスオーバーで初登場する。

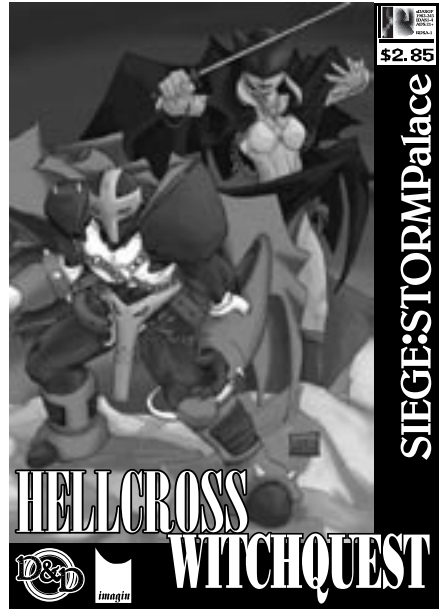
対するは、魔界の衛兵HELLCROSS。

煉獄から逃げ出した魔界の元侯爵を連れ戻すのが今回のHELLCROSSの任務だ。

魔女の王とこの侯爵との間にやたら確執があったことが事件の発端となるのだが…。

D&Dの新たな看板になりつつあるHELLCROSSと、イマジンのWITCHQUESTの、出版社を越えたクロスオーバー。

HELLCROSSのライター「サミュエル・ウィラード」は、イマジンでWITCHQUESTのライターをしていた時期もあり、イマジンに残ったペンシラー「オットー・バルドー」と久しぶりにコンビを組んだ作品となる。



WILD/SLAPSTICK FATE COMICS \$3.00

独立誌のないスラップスティックのクロスオーバー誌。全四話。ある本の記録を頼りに、17世紀と現代のBigAppleに現れた同じ男を追ってワイルドはその目的の男……スラップスティックと出会う。だが、その場にさらにもう一人のスラップスティックが出現し……

ベイスンシティと開拓時代の北米にわたって繰り広げられるスケールの大きな物語である。

ご存じの通り、ワイルドはフェイトコミックでも有数の強力なヒーローだ。不死で変幻自在の生命であり、高次元の落とし子とも言われる。異次元、宇宙を舞台に、様々な事件に出会い大暴れする。

次元跳躍と不死性、怪力と高い知能を持ちながら、本質は原始人と変わらない。そのギャップがWILDの持ち味だ。

PYTHON社 倒産?!

グッズ展開が当たって業績も好調だったインディーズ系の雄PYTHONが、FATE COMICSへの身売りを決定したことを発表した。どうやら、2年前の映画化とミトラスへの投資が裏目に出たようだ。信頼できる情報筋によるとムリな事業展開と、プーシキン社長の突然の入院が問題らしい。

FATE COMICSでは負債を受け入れた上で、レーベルのいくつかを残すということらしい。

となると、ミトラスのMOUNT PYTHON PARKはどーなるんでしょうねえ?

EAST NAVY社 ライターをヘッドハント?

かねてよりコミック業界への進出をほのめかしていたEAST NAVY社だが、どうやらそれが現実となるようだ。

EAST NAVY社はその名前とは全く違った業種——清涼飲料と製菓——の企業だが、現会長のアメコミ好きはアメコミ業界では良く知られていた。とうとう趣味が高じてなんとやら、というヤツらしく、何人かの有名ライターに打診している。

専属契約ではなく1シリーズ単位で、読み切りに近い形をとりたいという。噂では、災厄前のオールドアメリカンタイプのヒーローを狙いたいようだ。また、バットマンやデアデビルのリバイバル企画も温めているというハナシ。

実際、それに乗ると言うライターもいるらしく、ペンシラーやインカーにもこっそりと声をかけているようだ。今は書けないが、かなり有名な人間も参加することになっているとのこと。

また、広告戦略として自社の清涼飲料(EasyDoTだな)を使った大型キャンペーンの企画が進行中で、フィギュアやグッズもすでに試作モデルも完成している……ようだ。

新着情報

SHOW MEGAS 事故で入院

D&Dのペンシラー、SHOW MEGASが事故で入院した。仕事場で、棚から落ちてきたDAKのパーツが右手の甲を直撃。骨が複雑骨折してしまった。

現在、氏はRED BASICの連載をTurok SummerWindにバトンタッチしており、早い復帰が望まれるところである。

ただ、ここで終わらないのがSLASHの新着情報。どうやら、他社への移籍が決まっていたようで、その契約がごちゃごちゃし始めているらしい。氏の回りでは、いろいろとこそそそやっていたエージェント(小説みたいだぜ!)がいたりするとのこと。

移籍後は氏のRED BASICが読めなくなるわけで、ヒロイン・RED Agentの妖艶な姿が見れなくなるのはツライかも。

SLASH Ex 9

今回のコミックマーケットプレイスは冬。一応、WOODSMOUNTも出店予定だが、なにしろEX版は普段の予定に無理矢理ねじ込んで作ってるワケで。

今回も、FATE COMICSからの著作権許可がすこし下りなかつたりして、てんやわんやだったり。いやもーなんてゆーか、死ぬるよね。まったく。

というわけで、次の特集はD&DかLAW PACKの特集予定。もしかしたら、今回の雪辱戦ってことで、またフェイトをやるかもしれません。(編)

C3P、新規クリエイター募集

今期も、チハヤコミックセンターによるクリエイター募集を開始する。レギュレーションについてはC3Pを参照のこと。

前回の募集で採用された、イーナ・ヒルトンはさっそくデビュー作を描きあげている。下のイラストがその本の表紙だ。

魔界のプリンスとその従者達が魔界と融合した人間界を旅しながら、魔界と人間界の鎖を解いていくというダークファンタジー調の超伝奇モノ。かなり派手目の演出と古典口調の語り、見開きの迫力と緻密な描き込みは、ライターとペンシラーを兼任しているとは思えないほどの仕上がりとのこと。

コスタントに強力新人を発掘しているC3P、今回もあっと驚く人材を見つけて欲しいところだ。



N◎VAオンリーアンソロジー

自社広告で申し訳ないが、WOODSMOUNTからN◎VAを題材にしたアメコミを収録した『SUPER N◎VA vol.1』が発売された。様々なレーベルから出ているコミックから厳選して収録した一品で、SLASH編集部が全面協力してる。もう、いろいろと調整したりしなかつたりでタイヘンってヤツだ。

FATE COMICS『Dr.FATE MASTER』『Macstar Gurdian』『Countdown to the Adventure』、D&D『BLUE EXPERT』『PRINCE ABEL』、PENDRAGON『CHAOS CORPS』、MEGADAT『FAHLENHEIT』、BANZAI『PURE KIDS』、『CYBERPUNK GENERATION』

しかも、N◎VAのアメコミショップマップや作品で登場した場所の解説までついてるぜ。

買い、ってやつだな。

イワン・シンケロビッチ・ハシモフ原画展

ユタ・リンの来日と合わせてウェンズデイマーケットで開催されているのが、MAN IN Xペンシラー、イワンの原画展だ。

MAN IN Xだけでなく、それ以前の作品も展示されるから、画風の変化も楽しめたりするぜ。原画集、初期作品集も限定発売されるというハナシだから、おさえといても悪くない。

場所は、ウェンズデイマーケットの西広場、トゥーンワールドの常設会場だ。そこにはMAN IN Xのバックナンバーもあるから、いろいろと漁るってのもマニアらしいやり方だな。

ウチも絡んでるんで、ま、CMなんだけどな(笑)



KomicMarketPlace恒例 総力特集

『Man of the Origin』日本語版刊行記念

The World of MAN IN

MIXユニバースは一人の男によって生み出された。
彼の紡ぎ出すヒーロー、ヴィラン
そして、その物語達。

FCレーベルでも異色、かつ熱狂的な人気を誇る
MIXユニバースの魅力に迫る

MAN IN X

メインライター

ユタ・リン

—Utah Ling—

来日記念インタビュー

●インタビュー
クロトワ・シーマン
●構成・翻訳・撮影
編集部

オリジン 【紡ぎ手の起源】



MIXユニバースで多くのファンを魅了してきたユタ・リン。何度も会ったことはあったが、親しく話をするのはおそらく今回が初めてだ。スタジオに現れるとすぐに、親しげに「いえー」とカメラの前でポーズを取る彼。噂通りの気さくな人物だ。撮影に手間取っているぼくに「キミ、処刑ね」と冗談をかわしあう和やかな雰囲気の中で、彼は自らの世界を語ってくれた。

当時は自分でペン入れしてね（笑）

——まずは、このコミックの世界に入るようになったきっかけから。

ユタ・リン（以降UL）「まだ無名時代、『マン・オブ・ジ・オリジン（MO）』*1のパイロット版を持ち込んだのがこの世界に入るきっかけになりました。あの機会は非常にラッキーだったと思います。

その時に自分でペン入れまでしたものを持ち込んだんですが、ヘタでね（苦笑）。担当者にイワン*2を紹介してもらって正解でしたね」

——へえ、「あの」ユタ・リンが昔は自身でペン入れを（笑）。ということは、以前は別の仕事をされていたのですか？



UL「以前は、ライターとしてあちこちにコラムなんかを書いて食べていました。実はそれでM○●Nには行ったことがあるんですよ。その時の経験が今の仕事にも活かされていると思いますね」

——なるほどなるほど。さて、ユタ・リンの作品世界の要のひとはこのストーリー展開ですね。ライティング技術を特にここで学んだという元はあるのですか？

UL「特に誰かに師事したことはありません。そういう意味では自己流かな。担当のデイベ*3にはいろいろとしごかれましたがね。彼にはいろいろと世話になりました」

——ご自身が好きな作品、特に影響を受けた作品というのがありますか？

UL「やはり、災厄前のコミックのレプリカですね。20世紀後半のものには特に影響を受けていると思います。クラシックエイジのスーパーマン*4やバットマン*5はもちろんの事、バロックエイジのX-MEN*6からも影響は受けていると思います。最近読んでいるものから言うと……トムやベン*7の作品は非常に良いですね」

——そうそう、20世紀といえば最近、災厄前の本物のコミックを競り落としたそうですね。N○V Aでもニュースで大々的にとりあげられていましたよ。





UL「子供のころからの夢だったんでね(苦笑) スミソニアン*8でガラス越しに見たのが原体験ですから。やっぱり、いつかはこの手にとって見てみたいものですよ」

——噂では、かなり高額だったそうですね？

UL「競り落とした値段？ それは・・・ノーコメントだな。(笑) 自分でも驚いていますから。でも、自分としては大いに満足しています」

——MOから始まったこのシリーズには実に様々な要素が出てきますが、御自身の中で、これが自分のイメージの源泉だ、というのがありますか？

UL「小災厄ですね。この業界に入る前の仕事でM●●Nに行った時、大きなショックと深いインスピレーションを受けました。ニューロ・エンクワイヤ誌*9は今でも、ウイルスで超常能力を持った人間がいると騒いでますよね」

——ずばり、根底にあるメッセージをひとことで言うと？

UL「…… “一人の男の死が、どれだけの人々に影響を与えるか？”です」

——なるほど……。さて、そうして始まったシリーズも次々とヒーローとサイドストーリーが生まれ、多くの作品を抱えるようになってきました。全ての大元として、クリエイトにおける自分なりのポリシーはありますか？

UL「MOから始まったMIXユニバース*10も、どんどん広がってきています。私自身が全てを手がけることが出来なくなっていますが、なるべく事前に目を通す様になっています。私がこの手で生み出したものですから」

一人の男の死が、どれだけの 人々に影響を与えるか？

——では、読者の皆さんが待っている質問に移ってみましょう。作者として一番気に入っているヒーローは誰になりますか？

UL「私が最初に創造した第一次アライアンス*11のメンバーには特に思い入れがありますが、しいて言えばスラップが一番かな？ 私は脇役の方に愛着を感じてしまうタ

- *1 マン・オブ・オリジン (MO)
すべてのヒーローの起源、オリジンが主人公の唯一のシリーズ。4回読み切り
- *2 イワン
ユタ・リン作品のメイン・ペンシラー、イワン・シンケロビッチ・ハシモフ精緻な画風は評価が高い。
- *3 デイブ
FATE COMICS社の名物編集長。ユタ・リンとは特に親しい仲
- *4 スーパーマン
災厄前のアメリカの有名ヒーロー。クリプトン星の最後の生き残り、地球を守るために戦う
- *5 バットマン
同上。幼少の頃両親を殺された大富豪ブルース・ウェインは、夜な夜な、コウモリを模したコスチュームでゴッサム・シティの夜の守護者として戦い続ける
- *6 X-MEN
同上。プロフェッサー・Xを中心とした超能力ヒーローたちの物語
- *7 トムやベン
D&D社のライター。独特の作品世界に人気高し
- *8 スミソニアン
災厄前から続く、北米の博物館。倉庫には100年かかっても整理仕切れないほど、様々な収集品がある。ユタ・リンの買ったものは、そこからの放出品
- *9 ニューロ・エンクワイヤ誌
全ての真実の解放をうたう週刊誌。オーサカM●●Nのマイクロ・ハザードの追求を続けているのは有名な話である
- *10 MIXユニバース
クロスオーバーしたユタ・リンの作品世界全体を表す語。Man In Xの略
- *11 第一次アライアンス
初期作品からMIXユニバースに登場したヒーロー達。ダイナモ、アंक、ホーリーンボル、カウントダウン、パラディンの5人
- *12 カウントダウンの胸につけるあのカウンター
4桁の数字は、時間を操る彼の能力を表すものである

チなんです。こう、なんて言うか、メインの役者達を盛り立てる脇役がね」

——ほほうー、脇役がお好きですか。そうおっしゃる原作者の方というのは意外に多いんですよ(笑)。コンセプトを構築し、実際にストーリーの中で動かしているうちに、当初の設定から変わってきたヒーローというのはいます？

UL「多かれ少なかれみんな変わっていますが・・・特に言えばパラディンかな。コスチュームもだいぶ変わったし(笑)。最初は真っ黒の全身タイツという設定だったんですよ。ちょっとストーリーの中で問題が生じてきました」

——MIXユニバースのヒーローたちのコスチュームもニューロですよ。ぼくはカウントダウンの胸につけるあのカウンター*12が大好きなんです(笑)。デザインで参考にしたものはありますか？

UL「デザインの参考をしているものは沢山あります。ある意味、目にしたもの全てかな。特に…カウントダウンとダイナモなんかは災厄前のコミックの影響を受けていますね。アंकは想像通りエジプトです」

——御存知かと思いますが前にSLASH!でヒーローの読者



人気投票をやってみたんですよ。結果は予想通り、ダイナモとホーリーシンボルがダントツ。ドミニオンにも意外と人気がありましたね。彼らについて特にコメントをお願いしますか？



UL「やっぱりあの二人でしたか。まあ彼らもシリーズの中で成長し、これから変わっていきます。二人の間に芽生えそうな愛に関しても、これから何かあるかもしれませんよ。

ドミニオンは…きっとあのままでしょうね(笑)。あの決め台詞のまま、いつまでも戦ってほしいものです」

—おおっと、今は見逃せない情報ですね！

フリークたちの間でもいつも話題に上ってるんですが、ヒーローたちにはそれぞれモデルがいるらしいですね。ぜひこの機会にヒトツ。

UL「特定の人物に意識して似せているということはありませんが、自然と誰かに似てきているかもしれませんね。まあ、はっきり言うと、似てるのもあります」

—自然と…ということはやっぱりいるんですね(笑)。今度、ウチでモデルは誰か？の特集をやりませう。投稿もずいぶん集まってるんですよ。ぼく自身も何人か思い当たる人物がいますし(笑)

モデルということで続けて。ベイスンシティが実はM○●Nをモデルにしている*13というのには有名ですが、他の設定…たとえば神代やX1ウィルスやホリィナイト財団あたりにも、モデルがあるのですか？

UL「神代は、さる日系の大企業*14がモデルです。本物はクリーンな会社ですよ。ニンジャもいないし(笑)

*13 ベイスンシティが実はM○●Nをモデルにしている全ての源である小災厄、作中で随所に現れるパロディからしてこれは確実といえよう

*14 日系のあの大企業
おそらく、千早グループのこと

*15 『EXCALIBUR』
ホーリーナイト、パラディン、インセントらが登場するシリーズ

*16 『Seven seals』
ホーリーシンボル、ドミニオン、そしてドラゴンフライらが登場するシリーズ。怪奇色濃厚異色シリーズである

*17 ヘルボーイ
20世紀末の人気コミック。悪魔の子であるヘルボーイが主人公で、ナチのオカルト部隊など怪奇色が強い

*18 中世の作家ラブクラフト
H・G・ラブクラフト。自ら創り出した『クトゥルフ神話』が有名な怪奇作家。20世紀末には、この世界を舞台にしたロールプレイング・ゲームも登場した

*19 あっさりステーションが死んでしまった
NEW GENESIS#04を参照。学園生徒でミクスムーンの同級生であった

*20 ニューロタング版MO
表記を全ニューロタングにし、あちこちに手の加わった復刻版のMO。新エピソードも挿入されるということで、発売前から期待の声が高い

他にも参考にしています。ですが、あくまでも参考にしただけです。現実世界に似せることでリアリティは増しますが、MIXユニバースはパロディ作品ではないので」

—ああ、なるほど。そういえば『EXCALIBUR』*16には全体的にアーサー王伝説的なテイストが入っていますね。パラディンが剣で戦いながら豊富な知識を披露する場面が鮮烈でした。ご自身は神話関係への興味は？

UL「実は友人の受け売りなので、不確かな所は多々あります(苦笑)。なんとかしてそれらしくしましたけど。あのふたつの騎士団の名前も、まったくの創作です」

—いやいや、かなり正確でしたよ。同じく、『SEVEN SEALS』*16に邪教団が出てきますが、オカルト関係もお好きなんですか？ 災厄前のレプリカだと…ヘルボーイ*17あたりがお好きとか？

他にも参考にしています。ですが、あくまでも参考にしただけです。

UL「近世の作家ラブクラフト*18に似ていると指摘されたことがあります。それは正解です。このシリーズを書くに当たって色々文献を調べましたが、非常に興味深い作業でした。あれから、クトゥルフ神話も集めるようになりましたね。これからは『SEVEN SEALS』の中に活かしていきたいと思っています」

—なるほど。あの雰囲気は深いリサーチから来ているんですね。

最近、書いていて楽しいと思うものはなんですか？

UL「最初の頃は無我夢中でしたが…最近、本編とあまり関係の無いところでいかに遊ぶかが、楽しみの一つになってきますね(笑)。かなり先のストーリーまではもう決定してしまっている。これが、昔と今の大きな違いかな」

—ファンはそういう遊びを探し出すのが大好きなんですよ。NEMESIS#23の壁のホログラフの元ネタ探しながら、SLASH編編集部まで夢中になりましたからね(笑)。今でも元ネタがまだ分かってないのが幾つかありますし。

今までの仕事の中で、これはちと失敗してしまった、というエピソードはありますか？

UL「他のライターの方におまかせした回で、あっさりステーションが死んでしまった*19ことですね。つじつまを合わせるのに苦労しました(笑)。そう、やっぱりあれが一番の失敗だったかな」

—やはりあそこでしたか。かなり度肝を抜かれる展開でしたからね(笑)。

おや、時間も迫って来ましたね。今回、インタビューのためにN○VAにきていただいたわけですが、印象はどうですか？



UL「活気のある街ですね。こちらで仕事をしたいですよ(笑)。気候も北米とくらべて穏やかで住み易そうだし、ヒーロー達の普段着もいろいろ遊べそうかな」

—おみやげはもう買われました?(笑)

UL「昨日アサクサで〈センペイ〉ですか? ライスクッキーを家族に買ってきました。向こうでも手に入ることは入るんですが、やはり本場のモノをね」

—北米の方のオフィスは最近移転したと聞きましたが?

UL「ええ、引っ越しました。シリーズが始まった頃は狭い中で無理に作業していたのですが、今度からスタッフが泊まり込みでも作業できるようになりました。広くて良いところです。居心地がいいのか自宅に帰らないスタッフ続出で、新婚のスタッフなどは家庭の危機だと言ってますね(笑)」

—イワンやデιβもその中に入るのですね。さて、そのメインペンシラー、イワン・シンケロビッチについて、何かひとこと。

UL「イワンと組んで作業出来ることは名誉だと思います。MIXユニバースのイメージは彼あってのものですから。ただ、もう少し早く仕事してくれると助かるんですがね(笑)あと、イベントに奥さん同伴で来て欲しいな。一度でいいから(笑)」

—彼と組んでこれから描いていきたい話や、展望はどうですか?

UL「スピンオフ作品を年に数回のペースでゆっくり発表出来るといいですね。急ぎすぎてクオリティが下がるのは絶対に避けたいです」

—そうそう、SLASHにはアメコミクリエイターの道を目指すファンからの手紙も多いんですよ。彼らにひとことお願いします。

UL「とにかく、なにかを完成させること。そこからがスタートです。クリエイトには至高の価値があるのですから。完成したところから、次のステップへの道が開けます」

—なるほど。では最後に、ファンに贈るメッセージを。

UL「今度発売される、ニューロタング版Man of the Origin^{*20}を宜しくお願いします。原点に再び帰った、私の入魂の作品です」

—どうも、長らくありがとうございました。

全てのヒーローの^{オリジン}起源であるオリジンに始まり、多くのヒーロー、多くの物語を紡ぎ出してきたMIX^{ユニバース}ユニバース。ぼくは今日、その紡ぎ手であるユタ・リンの起源を垣間見たような気がする。MOのニューロタング版も発売前から話題で持ちきりだ。これからも、紡ぎ手ユタ・リンは多くの

ファンを魅了し続けるだろう。

ユタ・リン 全仕事

<MAN IN X シリーズ>
Man of the Origin
YEAR ONE
DYNAMO
EXCALIBUR
NEMESIS
SEVEN SEALS
Countdown to the Adventure
RIDER X
666
NEW GENESIS

<コミック単発>
REBIRTH POINT (FATE COMICS)
SPEEDSTAR STEET (FATE COMICS)
QUIET WORLD (FATE COMICS)
KRACKDOWN (FATE COMICS)
UNIVERSAL ARMY (PYTHON)
MEGADEATH COLOSSEUM (D&D)
TRIP TRAP TROUPEZ (D&D)
INTRON BACKYARD (CLEARFORD)
BURNOUT ROCKETMAN (FFF)
SilverRescue (C3P)
Q J : the TRUE (C3P)

<コラム・記事等>
NorthenIsland News (N.A.U.)
Daily PhotoJapan (NOVA)
MusicFoundation (N.A.U.)
Spiral Flow Journal (N.A.U.)
XXX MegaMax (N.A.U.)
DICK JAPAN (NOVA)
AUTOMACHINE EROTIC (N.A.U.)
DIVA (N.A.U.)

<広告(コピーライター)等>
BrownSugarCoke (N.A.U.)



「私はたしかに超人だ、それでも人間を愛している」

■PERSONAL DATA

名前：オリジン／不明	身長：187cm
愛称：なし	体重：90kg
職業：英雄／不明	髪：黒
活動拠点：ベイスン・シティ	瞳：黒
所属グループ：なし	肌：黄
年齢：30歳前後	

THE MAN OF THE ORIGIN

ORIGIN

性格：

なるべく、目立たない様にしているシャイな男。
自分の能力に恐怖を感じつつ、その力に無限の可能性をも感じ、悩む。周りに流されやすく、悩み出すと思いつめる性質。
養父の死を救えなかったことがトラウマになっている。

ヒーローになった理由：

ある雷雨の夜、雨の中で泣いている幼子を、のちの養父母が発見する。

彼の傍らには1人の女性が倒れており、医師であった養父母は彼女と幼子を自宅へ連れ帰る。彼女は生死の境をさまよった後、次の日の朝、息をひきとる。子供のいなかった養父母はその幼子を引き取る決心をした。

幼い頃より能力の片鱗が現れ始めたが、その力の悪用を恐れた養父の最後の言葉により、彼は能力を使わない事を誓う。

しかし、倒壊事故が起こったとき、その誓いを破り人々を救って壮絶な死を遂げる。

能力：

銃弾をはねかえすほどの強靱な肉体と超人的怪力。超高速で飛行し、大気圏外への脱出も可能。テレパシーや透視能力、優れた五感など様々な能力を併せ持つ。

特徴：

後のヒーローに多大な影響を与えた最初の超人。
彼が何者であるのかは作中では明確に示されていない。
Man Of the Originシリーズでは彼の独白を中心に、超人として生まれてしまった男の苦悩を知ることができる。

オリジン

最初で最強の超人



■活躍誌

「Man of the Origin」 現在、唯一のシリーズ。全4回の読み切り。

「Man In X」「Infinity Power」「Original Sin」「Man of the Origin」の4タイトルで構成される。

他シリーズの端々に、老けているがよく似た人物がちらっと登場している。裏情報では、なにか伏線になっている模様。

次のグローバルクロスオーバー「インフィニティ・イミテーション」に関係があるとの情報。

■PERSONAL DATA

名前：ダイナモ／エリック・B・ミドルアース
 愛称：DYNY, THE BIG
 職業：街の守護者／元神代重工兵器開発部研究員
 トロン機器メンテナンス「ミドルアース」代表取締役社長。
 活動拠点：ベイسن・シティ
 所属グループ：ダイナモとして【アライアンス】に所属。
 エリック個人では、ホリナイト財団メインフレーム「X-JAM」の整備技師。

年齢：31歳 髪：黒
 身長：190cm 瞳：青
 体重：90kg 肌：黒

THE GENTLE GIANT OF THE BASINCITY

DYNAMO

性格：

穏和で落ち着いており面倒見が良い。NEW GENESISの面々から、よく相談を受けたりする。

自分の研究について話しはじめると止まらず、非常に熱っぽく語る癖がある。

「私には夢がある」

ヒーローになった理由：

電腦系中堅企業「ミドルアース」CEOの長男として生まれる。幼い頃にX1ウイルスに感染したが発病はせず成人し、神代重工の研究員となった。

しかし両親が飛行機事故で突如他界。完成間近の強化服の開発をあきらめ、両親の残した会社を継ぐ事を決意する。その矢先、X1ウイルスが発病し生死の境をさまようが、奇跡的に回復。生体発電能力を得る。

能力：

強力な生体発電能力を持つ。その大半は強化服の電源として用いられるが、両腕から強力な電撃を放つこともできる。最初は暴走型放電だったが、現在は限定的ながらトロンの操作もまで可能となった。

強化服には劣悪環境下の生命維持や短時間の飛行能力が付加されており、アタッチメント式の装備もいくつか存在する。

特徴：

自分の正体は仲間にさえも明かさない。彼の素顔を知るのには一部の人間だけである。

争いを好まない性格から一時は強化服を脱ぎ、のちにNEW GENESISのメンバーとなるトランスが強化服を譲り受け2代目ダイナモとして活躍したこともある。

ダイナモ

Man In X

静かなる巨人

The Armored HERO
DYNAMO

■活躍誌

「DYNAMO」メイン誌。常に強化服をねらわれており、ミュータントから軍需産業、サイコと様々。

人気ヒーローとして、他誌でも活躍。クロスオーバー率No.1。

また、素顔のトロン技師としてちょくちょく登場。





■活躍誌

「SEVEN SEALS」メイン誌。

オカルト色が強い。よく誘拐されそうになる。登場人物やストーリーが、旧教をモチーフにしていることは有名。サブキャラクターであったドミニオンのスピノフシリーズにもよく登場する。

基本的には、どの誌面でもスタンスは変わらない。

「後悔はしないわ」

ヒーローになった理由：

まだ幼い頃、X1ウイルスに感染し背中に小さな羽根が生える。当時から変異者は差別され排除の対象となっており、彼女は背中の羽をひたすら隠し目立たないよう生活してきた。いくつかの誌面でそのころの記憶が語られている。

倒壊事故の際、生命の危機に瀕したとき、能力が突如開花。現在の姿に変身できるようになる。

能力：

超人的反射神経を持ち、背中の羽根を使い空中を高速で飛ぶ。強力なテレパシー能力と霊的視力を有する。

普段は東洋系の姿だが、能力を発揮する時は金髪蒼眼の姿になる。

特徴：

強力な霊能力を持つためか^{アストラル}星幽界を舞台にしたエピソードがいくつもあり、人外と戦う場面も多い。

ちなみに、NEW GENESISメンバーのパワーズから「お姉さま」と慕われている。

ホーリー
シンボル

SEVEN SEALS

■PERSONAL DATA

名前：ホーリーシンボル/姫蓮珠

愛称：angel、angie（スラップスティックのみ）

職業：クライムファイター/XA I O S社秘書課に勤める。普

段は勤勉なキャリアウーマン。

活動拠点：ベイسن・シティ

所属グループ：アライアンス

年齢：26歳

髪：黒/金

身長：170cm

瞳：黒/青

体重：30kg

肌：黄/白

性格：

つねに冷静沈着、現実的な対応をとる。リーダーシップを発揮し、皆のまとめ役になることも多い。

過去に克服した人間不信（テレパシー能力に起因する）がストーリーに絡むことがある。



シティの守護天使

ANGEL OF BASINCITY

HOLY SYMBOL

■PERSONAL DATA

名前：カウントダウン／バーナード・ヒル

愛称：C D、COUNTY

職業：ヒーロー／大学院生～研究員

活動拠点：ベイスン・シティ

所属グループ：アライアンス

年齢：23歳

髪：黒

身長：180cm

瞳：茶

体重：82kg

肌：白

「やれやれ、楽はさせてもらえないや」

THE MAN WHO MASTERED TIME

COUNTDOWN

性格：

普段は、うっかりした部分もある、ごく普通の好青年である。頼まれたことを断れない性格で、損をすることも多い。

結婚の約束を交わした婚約者にヒーロー活動を隠しているため、なにかと誤解されることも多く、涙を誘う。

ヒーローになった理由：

X1ウイルスにより時間停止能力を得る。オリジンと面識があり、彼に自分の能力をうち明け、その力で有名人になる夢を話していた。(当時はオリジンが能力者であることを知らなかった)

オリジンの忠告も聞かず各種メディアに売り込んでいる最中、倒壊事故が発生。オリジンの死を目の当たりにする。

その壮絶な最後を見、自分の過ちに気づいた彼は、授かった能力を人々の為に使おうと決意する。

能力：

数秒間、周囲の時間を止める事が出来る。ただし体力を非常に消耗する。体力的には常人と変わらないので、日々トレーニングを欠かさない。

化学薬品の知識が豊富で、自ら合成した薬品等で事件を解決することもある。

特徴：

ヒーロー活動と違い、私生活ではあちらこちらに気を使い、なにかと気苦労が絶えない。ヒーローとして認知されていけばいくほど、ふつうの生活とのギャップの激しさに悩んだりしている。

後に、婚約者のベティ・グリーンと結婚。

彼女にすべての秘密を明かすが、すでにバレバレであり、ずっと知らないふりをしていた彼女の方が一枚も二枚も役者が上であった。尻に敷かれるのは間違いない。

カウントダウン

最初の「ヒーロー」



■活躍誌

「The Countdown to the Adventure」
メイン誌。私生活とヒーロー稼業の板挟みになりつつも前向きに頑張る。

クロスオーバー時は、一般人の視点を大切にする発言する常識人。とは言うものの、少しずれたところが笑いを誘う。

Man In X

COUNTDOWN
to the Adventure

「女を殺したことが、あなたにはあって？」

■PERSONAL DATA

名前：アंक／ネフィ（ネフィエルティティ）＝ガズィー
 愛称：Queen、Princess（スラップスティックのみ）
 職業：クライムファイター／社長令嬢。高校生
 活動拠点：ベイسن・シティ
 所属グループ：なし

年齢：17歳 髪：白金
 身長：168cm 瞳：蒼
 体重：48kg 肌：琥珀色

アंक

■活躍誌

「NEMESIS」メイン誌。
 夜のシーンが多いため、かなりダークなイメージの作品。他のメンバーの手を借りようとしなため、ピンチになること多数。
 ホリイナイトは信用できないと思っているため、アライアンスを避ける傾向にある。

THE NILE QUEEN

ANQUE

復讐の女王

性格：

人前では明るい世間知らずを演じている。本当は気性が激しく、絶対的な正義が世の中に存在することを疑わず、過激な行動に出ることさえある。

いくつかの事件を通じて、少し性格が丸くなったとも言われる。

ヒーローになった理由：

彼女の母親はもともと非常に強い超常能力を持っていた。その血は娘に受け継がれ、母は能力の使い方を教える。だが娘が人前で能力を使うことを堅く禁じていた。

しかし企業間戦争の陰謀に巻き込まれて母親は死亡。彼女は母の復讐のため、誓いを捨てて夜のベイسنシティをひた走る。

後にアライアンスのメンバーとなるが、孤高を保とうとしている。

能力：

周囲に存在する水の分子構造を制御できる。空気中から水分を集め伸縮自在の水流の鞭を作りだし、武器とする。

あるエピソードで、ヴィランの身体から水分を抜き去ってミイラ化させたことがあり、そのショックで力を失ったことがある。

特徴：

父親が家を空けがちなのをいいことに毎日遊び回る不良娘。復讐の相手を求めて街をさまよう夜の女王。その二つの顔を使い分ける。



THE NILE QUEEN

NEMESIS

ANQUE

Man In X

「聖杯と呼ばれた男を知っているか？」

■PERSONAL DATA

名前：パラディン／アーサー・スチュワート
 愛称：Knight
 職業：元企業工作員／ホリナイト学園校長
 活動拠点：ベイスン・シティ
 所属グループ：NEW GENESIS指揮官
 年齢：50歳くらい 髪：銀
 身長：180cm 瞳：青
 体重：80kg 肌：白

THE KNIGHT OF KNIGHTS

PALADIN

性格：

厳格で理性的。感情を押さえる訓練を受けている。若い頃はずいぶん浮き名を流したようで、昔を知る人間が出てこられるといい顔をしない。

NEW GENESISの教育役だが、本当は子供が苦手。

パラディン

■活躍誌

「EXCALIBUR」

メイン誌。ハードボイルド探偵小説風。あまりコスチュームを身につけないのが特徴。

「NEW GENESIS」

渋いバイプレイヤーとして。新しい世代を率いる指導者として描かれる。メイン誌と違って派手な活躍を見せることもある。



Man In X

EXCALIBUR

ヒーローになった理由：

かつての親友であり「聖杯」と呼ばれた男を探すため。彼ら2人はヴィルヌーヴ系の企業工作員だったが、倒壊事故に関係する作戦行動中、日系企業に捕らえられる。そして当時実験中であった新種ウイルスの被験体となり、能力を身につける。

脱出後、親友の裏切りを知った彼は真実を問いたいため、男を探し求める。

ホリナイトとは以前からつき合いがあり、彼に協力する条件として、探索の助力を求めた。

能力：

非合法工作員としての知識、経験。また、全身に隠し持つ無数の銃剣と、各種暗殺術。そして極めて限定的なテレキネシスの持ち主。

テレキネシスは後天的に無理矢理引き出されたものだ。激しい苦痛を伴うため滅多に使わない。能力を使う時には両目が発光する。

コスチュームには現役時代のガジェットが装備されているが、その多くがすでに使えないか時代遅れのものだ。

特徴：

テール仕立ての上等なスーツに身を包み、上流階級の物腰で対応するビジネスマンを演じる（実際に会社も所有している）。見かけは上品な初老の紳士だ。

MASTER AGENT



ファング
FANG

The Patient Parasite

■PERSONAL DATA

名前：ファング/レオーネ・ロッシ
愛称：牙公/レオ
職業：ヒーロー候補生/学生
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：NEW GENESIS
年齢：17歳
身長186cm（変身時203cm）
体重：75kg（変身時98kg）
髪：金 瞳：緑 肌：白

ヒーローになった理由：

イタリア系マフィアの跡継ぎとして生まれ、た彼は、ごく普通の思春期を送ってきた。

ひょんな事から逃亡者を追って来た異次元精神体と遭遇、瀕死の重傷を負う。責任を感じた精神体はレオーネと融合し、その命を救った。宿主となった彼は、精神体に協力するはめになる。

ある事件を通じて他の若いヒーロー達と出会い、それがNEW GENESIS結成のきっかけとなった。

性格：

陽気で派手好きな典型的イタリア人の若者。喧嘩早く、物事を深く考えない。

能力：

精神寄生体「ファング（レオーネ命名）」の力で超人的運動能力と変形能力を得る。のちに、変身能力はレオーネの能力であり、ファングは潜在能力を引き出したに過ぎないこ

とが判明。ただしレオーネだけではまだ制御しきれない模様。

腕から先を鋭利な牙がはえた巨大な顎状にしたり鉤爪にしたり出来る。一時期、低年齢層向けに「トンカチ」を武器にしていた時期もあったが、評判は良くなく現在は元通りである。

特徴：

荒っぽい「レオーネ」と知的精神体「ファング」との絶妙な掛け合いが人気。

■初出

「DYNAMO」#23初登場。

NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS

ミクス
Mix

Time Enough for Love

■PERSONAL DATA

名前：ミクス/セシル・ムーンチャイルド
愛称：Mixy、HoneyMoon（スラップ）
職業：おっかけヒロイン/学生
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：なし（のちにNEW GENESIS）
年齢：17歳 身長：168cm 体重：51kg
髪：鶯色 瞳：緋色 肌：白

ヒーローになった理由：

ミュータント新世代の1人。両親は既に死亡。両親が残した財産で気ままに暮らし

ていたが、ナチュラル・セレクション事件で誘拐されていたところをスラップスティックに命を救われ一目惚れ。後を追っかけるように学園に居つく。

性格：

惚れっぽくて、泣き上戸。すぐに感動して泣き出してしまふ癖あり。

ルックス、スタイルを気にするフツの女の子。前向きな態度と行動力はチームのムードメーカー？

能力：

怪力。触った相手の遺伝子情報を取り込み、一時的に相手の能力と姿をコピーする。ただし、性別と肉体的な年齢まではコピー出来ない。希にコピーした能力や姿が定着

してしまい戻れなくなることがある。

特徴：

とにかく惚れっぽい。押しは強いが、ふられてばかりいる。でも本命はスラップらしく、スラップはそんな彼女をからかって反応を楽しんでいるようだ。

■初出

「NEMESIS」#19初登場。

NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS



NEW GENESIS

「ニュージェネシス」

クロスオーバー『ナチュラル・セレクション』で保護された若者達を主人公にした新シリーズ。

学園生活を中心にしながらパラディンの指揮の元、ヴィランとの対決よりもミュータントの探索と保護をメインの活動とする。

それに対し、血気さかんなメンバー達は、危険をかえりみずトラブルに飛び込んでいくことが多い。一時行動をともにした、フェイトことステーションの死は、いまだメンバーに影を落としている。

もうすぐ刊行されるクロスオーバー『インフィニティ・イミテーション』を前に、謎だらけの少女「タイム」がメンバーに加わった。

トランス
TRANS

Tiger! Tiger!

■PERSONAL DATA

愛称：タイガー

職業：バーテン/ハッカー

活動拠点：ベイسن・シティ

所属グループ：NEW GENESIS

年齢：18歳

身長：180cm 体重：70Kg

髪：黒（長髪で後ろでまとめている）

瞳：青（能力発揮時は黄色に発光）

肌：黄

ヒーローになった理由：

多国籍企業メインフレームにハッキング中、対侵入者プログラムの放った高圧サージを受

けてX1ウイルスが活性化、電流化能力を得る。

「ナチュラル・セレクション事件」において、次世代のミュータントとして他のメンバーとともに拉致されてしまう。その後、ホリナイトの進めもあって学園に腰を落ち着ける。

性格：

頭は良いのだが、意見の食い違いから感情的になりやすく、他のメンバーとよくトラブルを起こすこともしばしば。

能力：

自分の体を電流に変え、光速で空中や電導物内部を移動する。自分の体以外にも、電導体であれば一緒に移動させることもできる。

特徴：

少年の時、マフィアの抗争に巻き込まれ両親を目の前で殺害される。身寄りのなくなった彼は、母親の遠縁であった華僑系の大物マフィアに引き取られ成長する。

養父は彼が犯罪組織に関わることを禁じていたが、その目を盗んではいろいろやんちゃしていたらしい。違法ハッキングなどはその頃に覚えたようだ。

一時、ダイナモの強化服を譲り受け、ダイナモ2としてアライアンスに参加したこともある。

遠距離恋愛の彼女有り。自分の能力を活用してまめに会っているようだ。

■初出

「NEMESIS」#24

NESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS

パワーズ
POWERS

ScatterShooter

■PERSONAL DATA

愛称：ペンギン

職業：学生

活動拠点：ベイسن・シティ

所属グループ：NEW GENESIS

年齢：16歳

身長：150cm 体重：40Kg

髪：茶 瞳：碧 肌：白

ヒーローになった理由：

真教ミッション系の高校に通っていただった彼女は「ナチュラル・セレクション事件」でクロノマスターに拉致され、無理やり能力を引き出される。

クロノマスターの手から逃れるとき能力の使い方に自覚めたが、偶然知ったに応用法にメロメロになる。銃を手にするとも今でもトリガーハッピー気味。

事件の後、他のメンバーとともに学園に転入してくる。転入後もシスター服と伊達眼鏡を愛用している。

性格：

一見おどおどした風貌を装っているが猫をかぶっているに過ぎず、実態はただの暴れんぼうである。

父親は大変厳しい人物らしく、子供の頃から猫を被っていた模様。

能力：

エネルギーを送り込んだ物体の質量と強度を操作する。主に、両手に持った銃器から発

射された弾丸の質量を増大させる。

特徴：

2重人格ではないようだが普段とコスチュームを着けた落差が激しい。幼少期からの猫かぶりの影響か？ 実際、楽しそうにヒーローをやっているところを見ると、なんらかの反動とも思える。それとも趣味？

ホーリーシンボルに憧れており、ドミニオンとよく喧嘩する。その割にはよくコンビを組んで登場している。

■初出

「NEMESIS」#24

NESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS

チャンネル
CANAL

Watch This Space

■PERSONAL DATA

愛称：PRINCE

職業：学生

活動拠点：ベイسن・シティ

所属グループ：NEW GENESIS

年齢：17歳

身長：175cm 体重：58Kg

髪：茶 瞳：青 肌：白

ヒーローになった理由：

「ナチュラルセレクション事件」で、軌道からオーストラリアに降りてきたところを誘拐される。

軌道出身で母親が某国王家出身。第4位

の王位継承権をもつ。

自分の意志とは関係無く政治の道具として利用されてきた経験から、自分が得た力自分の意思で、人のために使おうと決意する。

性格：

おとなしく控えめな性格。少女のような外見にコンプレックスをもっている。

能力：

なんでも切断するディメンションナイフを生み出し、自在に操ることができる。また、護身術として幼い頃から訓練してきたマージナルアーツの使い手でもある。

当初はブロードソードと名乗っていたが、ディメンションナイフで空間を切り裂き、滑るように高速で移動する技を身につけてからはチャンネルと名前を改める。

特徴：

外見にコンプレックスをもっているわりに、普段着や髪型が女の子ばいのは母親の趣味のようだ。スラップスティックはチャンネルの女装を見て、ずいぶん受けたことがある。

一度、髪をばっさり切ったことがあったが、それを見た母親は驚きのあまり失神。結局、また伸ばし始めた。

■初出

「Countdown to the Adventure」#26

NESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS NEW GENESIS

THE NEXT GENERATION

New
GENESIS

「ホリナイト財団」

ウイルスの治療やX1ウイルス厄による孤児達を救済するために創設された団体。表向きは複数の出資者がいるように見えるが、ホリナイト個人の資金で運営されている。

シティ内にいくつか病院を所有し、孤児院や学校といった慈善活動も活発に行っている。反ミュータント活動家にはその名を知られた団体である。

ドミニオン
DOMINION
NUMBER OF BEAST

■PERSONAL DATA

名前：ドミニオン／アンドルー・マクドナルド
愛称：TROLL（言われると怒る）
職業：クライムファイター
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：なし
年齢：32歳 身長：210cm 体重：120kg
髪：鉄灰色 瞳：茶 肌：灰

■ヒーローになった理由：

幼い頃にX1ウイルス感染し怪力と再生能力を得るが、容貌が激変。社会から排斥されストリートチルドレンとなる。その後、秘密結社に拾われ、戦闘兵器として訓練される。
成長するにしたがって野獣の衝動が押さえられなくなり、街で暴れているところをホーリーシンボルらに取り押さえられた。治療のため財団に身を寄せるようになる。

■性格：

精神治療の結果、普段は寡黙で物静かな状態に落ち着いた。だが、内に秘めた怒りは一度噴出すると手が付けられない。

■能力：

怪力、再生能力。格闘技に優れる。シリーズ途中から背中に背負ったガジェットで空を飛べるようになる。

■特徴：

どうやら、ホーリーシンボルに惚れているようだが、外見にコンプレックスを持っているため進展しそうにもない。
ある時、X1ウイルスの効果を一瞬だけ押さえる薬品が発見され、本来の姿をホーリーにだけ見せたが、ホーリーは何も語らなかった。

■活躍誌

「SEVEN SEALS」

渋いバイプレイヤーに徹する。黙ってホーリーをかばうところに男らしさが見える。同じくホーリーを慕うデュナミスとは、口喧嘩が絶えない。いまのところ、全敗中。

「666」

年一回のスピノフシリーズ。各4話。こちらはドミニオンの本領発揮ともいえるシリーズ。野獣の衝動を解放して敵を次々に血祭りにあげていく。

全体的に、血生臭く暴力的であるためR指定を受けている。

グラスホッパー
GlassHopper
THE MASKED RIDER

■PERSONAL DATA

名前：グラスホッパー／本名不明
愛称：HOPPER、RIDER-X
職業：ミュータントハンター（元ヴィラン）
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：なし
年齢：25歳 180cm 体重：80kg
髪：黒 瞳：青 肌：白

■ヒーローになった理由：

X1ウイルス感染により、興奮状態に陥ると昆虫体に変態してしまう体を得てしまう。遺伝子研究所に捕らえられ治療と称する実験の被験体になるが、隙を見て脱走。実験の関係者に復讐する。
後に自分の細胞を利用し、作られた実験体を狩るようになる。

■性格：

ひたすら寡黙で人付き合いが苦手。変身中は興奮状態となり、口数が増える。

■能力：

変態後は怪力を発揮して、常人では制御不可能な化物バイクを自在に乗り回す。また、超人の跳躍力を持ち、バイクにまたがったまま数十メートルの跳躍も可能。
肉体的損傷も変態後、脱皮する事によって修復される。極度の興奮状態になると「昆虫化」が進みすぎて制御不能になる。

■特徴：

登場当初はドラッグを用いて変態していたが、ヒーロー扱いになってからは「禪」を修行して変態を制御できるようになった。

■活躍誌

「The Countdown to the Adventure」

最初はヴィランとして登場。いくつかの事件後、共闘するようになる。が、いまいち信用されてないようだ。

「RIDER X」

メイン誌。人に紛れて街に潜む遺伝子実験体を追いつめて狩る。パートナーの女性科学者とのロマンスもある。



スラップスティック
SLAPSTICK
The Luckiest Man in the World

■PERSONAL DATA

名前：スラップスティック／トシヤ・キイ
愛称：スラップ
職業：クライムファイター／
普段は何をしているか誰も知らない。
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：特になし。気まぐれでアライアンスに参加することも。
年齢：26歳 身長：172cm 体重：60kg
髪：黒 瞳：黒 肌：黄

■ヒーローになった理由：

特にこれといった理由は無い模様。
ヒーロー達の誕生の過程を描いた作品「YEAR ONE」においても、彼だけは「最初から」コスチュームをまもって、他のヒーローの前に現れている。
「YEAR ONE」の3章冒頭、闇の中で謎の人物が上司をおぼしき人物と会話しているのは、スラップスティックらしい。

■性格：

つねに明るく振る舞い、調子が良い。ど

んなに厳しい状況でも、それを楽しむような軽口を飛ばす余裕を見せる。極めて社交的だが、深く彼を知るものはいない。

■能力：

棒術の達人。手にした物品を通して、衝撃波を相手に送り込む事ができる。生家はなんらか古武術の宗家らしいが、本人はその辺を聞かれないと適当にごまかしている。
並外れた強運の持ち主でもあり、彼の周囲ですべてにおいて、彼の都合のいい方に物事が運ぶ。

■特徴：

狂言回しとして各作品に登場することが多いため、ストーリーに絡むことは希であるが、過去を含めたその行動のすべてが謎である所に何か裏があるようにも見える。

■活躍誌

決まった誌面をもちに各誌に登場。事件を引っかき回すくせにのんびり所だけかっさうこと多し。

「この世はすべてカードゲームさ。ま、オレの引き札は常に切り札だがね」

イノセント
INNOCENT
NAUGHTY BOY

■PERSONAL DATA

名前：イノセント/ボウィ（本名不明）
愛称：BOY
職業：ハッカー/ホリナイト学園生徒
活動拠点：ウェブ
所属グループ：Xクラスメンバー
年齢：10歳 身長：136cm 体重：30kg
髪：白 瞳：赤 肌：白

ヒーローになった理由：

乳幼児期にX1ウィルスに感染する。生まれつき免疫力が低かったため、ウィルスが脳に転移し腫瘍を形成。脳腫瘍に神経が圧迫され下半身不随となるが、代わりに能力を得る。

5歳のころ、正体不明で超ウィザード級のハッカー（クラッカー）として名を馳せるが、ふとしたミスから御用となる。あまりの幼さに司法関係者も持て余していたところ、孤児だったこともあり、ホリナイト財団に引き取られる。

性格：

背伸びしているがやはり子供で、善悪と好き嫌いの区別があまりついてない。すべてを二元論に帰結しようとする。とにかく子供扱いされるのが嫌。

能力：

子供離れした超頭脳。機器に接触するだけでウェブにアクセスするサイコタイプ能力。

特徴：

アルビノ美少年。でも子供。自作の超A1の方がよっぽど大人の対応ができるところが笑える。スラップスティックに、よくからかわれる。

■活躍誌

「DYNAMO」 トロン技師であるダイナモとは親子のような関係を見せる。
「EXCALIBUR」 厳格な校長は苦手のようなのである。

MAN IN X
Supporting
Heros

リチャード・ホーリーナイト
Richard Holyknight
The Lord of Fixer

■PERSONAL DATA

名前：リチャード・ホーリーナイト
愛称：リック（パラディンのみ）
職業：事業家、ホーリーナイト財団当主
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：アライアンス指導者
年齢：45歳 身長：170cm 体重：30kg
髪：金 瞳：緑 肌：白

ヒーローになった理由：

現在、ヒーローのサポートを行っており、自身では活動していない。

性格：

論理的かつ行動的。これと決めた行動を貫く信念の人。

能力：

テレパスを応用した人心掌握能力。精神リンクで、他人の潜在能力を引き出す。

特徴：

以前からパラディンと交流があったりして、昔は各国政府の下でいろいろしていたらしい。基本的にサポート役。

■活躍誌

「EXCALIBUR」
「NEW GENESIS」

DOMINION



GlassHopper



INNOCENT



BlackJack



HokyKnight



SlapStick



ブラックジャック
BlackJack
THE NINJA

■PERSONAL DATA

名前：ブラックジャック/ダニエル・ラプトム
愛称：BJ
職業：格闘家/大学院生
活動拠点：ベイスン・シティ
所属グループ：なし
年齢：22歳 身長：178cm 体重：78kg
髪：金 瞳：蒼 肌：白

ヒーローになった理由：

幼いころヒーローに憧れていた。そしてオリジンの死に様を目にしたことが転機となり、人々の役に立ちたいと思うようになった。

性格：

卑怯な事を嫌う熱血正義漢。そのぶん単純でもある。攻撃するとき、技の名前を叫んだりする生真面目さもある。

能力：

修行によって得た、超人的な身体能力。割と自己流な格闘術や体術。

特徴：

身体を鍛えるのが趣味の東洋かぶれ。多少暑苦しい感はあるものの腕は立つ。特殊な超能力をもたないうえ、我流であることを気にしている模様。

スラップスティックには弟子にしてくれと、なんども頼み込んでいるようだが、実現していない。

■活躍誌

特に決まった誌面を持たない。

テンプレリアン
【TEMPLIAN】

名前：テンプレリアン/ラウ=モック

職業：新興宗教教祖

活動拠点：ベイスン・シティ

年齢：28歳 身長：156cm 体重：61kg

髪：剃髪 瞳：赤 肌：黄

ヴィランになった理由：

新世代ミュータントであり、ある時期に潜在していたテレパシー能力を目覚めさせる。彼はこの力を天恵のものと考え、自分の人生で培ってきた教訓によってこれを分け合い、人々を幸せにできると心から信じている。いわゆる迷惑な隣人の類。

性格：

本質的に暴力体質。信者に囲まれているときなど幸せなときはや陽気なリスガイを演じてみせるが、自分の教義を否定されるとブ

チ切れて暴走し、相手が沈黙するまで攻撃を止めない。彼は薬品と引き替えにレベラシオの示唆する闇の仕事に手を貸すことになる。

能力：

ラウは我流の武術の達人でもあり、またテレパシストである。自分の信条を否定するものをレバシーと武術によって痛めつけ、容赦なく改心を迫る。

特徴：

新興宗教テンプレーの若き教祖。新興宗教テンプレーは、こめかみの部分に人間の全ての秘密があるとして、こめかみを鍛えることを教条とする、ケッタイな宗教。新興宗教と言うよりは勘違いした少林寺のイメージ。教徒は全員スキンヘッド。

なお、異名の由来はテレパシー使用時に取る、こめかみをおさえる独特のポーズから来ている。

初出：Countdown to the Adventure #20



Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess Villain & Villainess



リッカー
【LICKER】

職業：は虫類型ミュータント

活動拠点：ベイスンシティ近郊どこでも

外見：エリマキトカゲ・カメレオン・カマドウマを足したような怪物。

能力：

高い運動能力と凶暴性を備える。吸盤で壁に張り付き、長い後ろ足で高く跳躍し、高速で走行する。

特徴：

異様に長い舌が特徴のハチュウ類型ミュータント。高速で獲物に近づき、舌を巻き付け、

振り回し、叩きつけて弱らせてから巣に持ち帰って食らう。繁殖性も高く、成長も早い。成体は最大で2メートル近い大きさになる。

ただ弱点として、汚水ではない、純粋な水を浴びることによってその運動能力は著しく低下する性質がある。舌の強靭さをのぞけば体は弱く、当たりさえすれば子供がバットで殴っても殺せる。

主なすみかは都市の地下下水道。異変の前兆として出現したり、まれに美しい体色を持つものがヴィランに飼いやられているなどして登場する。

初出：RIDER X #02 「ONE HAND SHOT」

登場！ 宿敵レベラシオ：ミュータント・オウルライト

非公式とはいえ確かに存在するミュータント達。彼らの多くはその力を隠してひっそりと生きていた。軌道エレベータ倒壊事故でオリジンの最後を目撃した科学者タイラー・クリストは、その絶大な力に恐怖しミュータント探知装置の開発に着手する。

時を同じくしてヴィランによる組織的犯罪が多発、世論は反ミュータントに傾いていく。事態を重く見た議会は、完成した探知装置を用いて潜んでいたミュータントらを摘発、その管轄下におこうとする。隣人がミュータントであるかもしれないという不安、疑心暗鬼から市民は自警団を組織、その活動は過激にエスカレートし、ついに多数の犠牲者を

出すことになる。

ライアンスは事態を收拾すべく次々にヴィラン達を捕らえていく。そしてホリナイトによる遺伝子治療を目的とした財団設立宣言をもって、反ミュータント主義の席捲は一応の結末を迎えた。追い詰められたクリストは最後の抵抗を試みるが、結局、市警に逮捕される。皮肉なことに、自らの作成した探知装置は彼自身もミュータントであったことを明らかにした。

回収したミュータント探知装置にはあきらかに未知の技術が使用されており、クリストおよびヴィラン達は口をそろえて同じ名前を口にした。「レベラシオ」と。



MAN IN Xにおける最大の敵、「レベラシオ」と「クロノマスター」の初出ストーリーを紹介しよう。未だうち破ることのできない、強大な敵である。

世界各国で、10代の若者達が行方不明になるという事件が相次いで起こった。その犯人はなんと、ライアンスの一員でもあるパラディンであった！

この事件の黒幕が、パラディンの肉体を奪ったクロノマスターであることが突き止めたライアンスは、監禁、潜伏場所である孤島の遺棄された研究所へ急行する。そこで彼らが見たものは、遺伝子治療用超コンピュータ「オムニ」を悪用して若者のミュータント因子を無理矢理に引き出している光景と、因子が存在せずにショックで死亡した若者達の変わり果てた姿だった。

クロノマスターはミュータントの歴史に重大な影響をあたえるはずの人物を探し出すため、まるで実験室のモルモットのように若者達を機械にかけていたのだ。

ライアンスとのすさまじい死闘と新たな若きミュータントの活躍から、クロノマスターは次元の彼方へ消え去った。この事件のあと、操られたとはいえ自分の行った行為の償いのため、生き残った若者達に新たな力の使い方を教えるべくパラディンはホリナイトの協力の元、ホリナイト学園を創設する。

次世代の担い手達：ナチュラル・セレクション

Other Villain & Villainness

MAN IN Xシリーズで確認されたヴィランをさあ一つと解説。FCにも確認済み!

[OBSIDIAN] オブシディアン

初登場：NEMESIS#09

周囲の熱エネルギーを吸収、貯蓄する能力を持つ。ため込んだ熱で常に周囲が歪んで見える黒ずくめの男。

[LITTLEBEAR] リトルベア

初登場：Countdown to the Adventure#38

天空の小熊座から来たと言い張る性別不明の怪人。チューバッカにライトファンタジーの鎧を着せたような外見。怪力と光の鞭を使う。やけに偉そうな物言いをする。王族の血筋だとか本人は言うが…

[EMBERS] エンバス

初出：SEVEN SEALS#10

「決して消えない火」を常に右手に持つ。孤児院の出身で、本人は信心深いわけではないが、義理から教会のブラックワークを時々行う。自分を育てた孤児院のシスターの1人と愛人関係にある。

[CARRIAGE] キャリッジ

初登場：DYNAMO#10

見た目は普通の女性だが、衣服の内にある胴部分は異空間に通じ、小型バスくらいまでの容量で物や人をしまい込むことができる。レベラシオからもらった高速のエア・バイクで様々な輸送任務を担当する。スリル中毒の眼鏡娘。なお、普段は考古学専攻の大学生。

[HAREM] ハレム

初出：EXCALIBUR#24

アラブ系のお大尽中年。とにかく女性を魅惑する力を持つ。ただし、適用範囲は人間のみならず、動物から宇宙人にまでいたる。また非常に独特な美的感覚の持ち主らしく、ジャバ・ザ・ハットのような外見の相手にも、フィーリングが合えば交際を申し込み、真剣につきあう。彼のハレム（後宮）はこの世で最も淫靡で、危険な要塞の1つである。

[MONORAIL] モノレイル

初出：EXCALIBUR #29

視線を向けた先に真空を作り出す能力を持つ。彼の視線が移動した跡には一筋の切れ目が残るため、この異名がついた。現在は顔が特殊素材のサイバーウェアになっているが、以前はまばたきで自らが傷つかないよう特殊な矯正具を装着していた。その辺の後遺症か、能力のせいかわ、見開いた目は異常にでかい。新しい顔はレベラシオによって取り付けられた。神経症の病歴があり、今も直りきっていない。別れた妻子がいるらしい。

[WAVE] ウェイブ

初出：NEW GENESIS #07

黒人の少年。触れた物や自分自身の身に、海面に波を起こすような変化を起こすことができる。波が発生している物体は空間がねじまげられるらしく、波に乗って壁を昇ったり、波に巻きこんだ相手を空中に放り投げるなどができる。スラム街の少年ギャングのボスであり、彼に手を出そうとする勢力は少なくないが、影に強力な後援者がいるらしく、今のところ彼はこの便利な能力で仲間とともにやりたい放題である。皮ジャンを愛用。年齢14歳にしてすでに年上の恋人と同棲生活中。

[PRO-TECTER] プロテクター

初出：NEMESIS#18

人の壁となって傷つくことを至上の喜びとする変態性ボディガード。専属契約制を取っており、一度契約を結んだ相手とは例え相手が何者でも、解雇されるまで離れず守ることを信念とする。

ちなみに、過去は最高クラスのスナイパーだったが、ある事件をきっかけに今のようなガード屋になったとか。出てくるたびに護衛の相手が変わっていたりして、かなりの節操なしに見られがち。話しても相当の堅物で変人と分かる。

[MAHLER] マーラー

初出：SEVEN SEALS#22

強力なテレパシー能力者。強力なテレパシーを押さえるため普段は隕鉄の鉄仮面を被っている。その言動からウィルス事故に関わっていた様子だが、制御しきれないその能力の為、読みとった他人の記憶と自分の記憶の区別が付かないほど、混乱した記憶を持っている。

[Dr.DEATH-SCYTHE] ドクター・デスサイズ

初出：RIDER X #01 (人間として。#3で機械化されて再登場)

グラスホッパーの仇敵。登場時にはただのマッドサイエンティストだったが、彼に首を落とされて以降、死神の鎌と白衣姿で登場する。復活後、かなり機械化したらしく、切り放された首はもちろんのこと、全身のあちこちに様々なアタッチメントをつける事が出来るようである。

[BEM] ベム

初出：NEW GENESIS #6

下水に潜む怪物。様々な生物が混ざった肉塊に巨大な目。腐敗の宮殿の王。生体であればなんとも融合し、その知識を使用できる。自分の体の一部から人モドキを生み出す事ができる驚異の再生能力を持ち、下等生物に対する精神支配力を有する。

[CARTOON] カートゥーン

初出: Countdown to the Adventure#01

おとぎ話の登場人物を誇張した姿に生体彫刻したギャング集団。首領はプリンスと呼ばれる人物。幹部たちは性別を問わずすべて女性の姿に生体彫刻される。確認されている幹部は、スノウ・ホワイト、アリス、シンデレラ、ジャスミン、ビューティーなど。荒事担当は、動物や空想上の生物に生体彫刻されることが多い。ネズミ、アヒル、犬の頭を持つ3人組や、戦斧もった7人のこびと、青黒い皮膚を持つ魔人など。

[FAT BOYS] ファット・ボーイズ

初出:NEMESIS#20

全員が強化された胃腸を持ち、食べた食品のほとんどを消化吸収して自分の肉に変えるのを喜びとするポーターギャング。常ににかかを喰いながら行動する。

[QUARTER-VIEW] クォータービュー

初出:DYNAMO#17

ウイルスの作用により4つの目を持ってしまった男。そのそれぞれが、透視能力などの異なる視覚を持つが、その情報を一度に処理できる能力は得られなかったため常に開かれている目は一つであることから、その名がついた。

[BUBLES] バブルス

初出: DYNAMO#36

白衣を着た猿。遺伝子研究の為、自らを実験台にした元科学者。細胞間の結合力を弱め、進化の過程をさかのぼり肉体を最初の海の状態まで戻すという実験が失敗、元の姿に戻る時には類人猿の段階までしか戻れなかった。その結果、知能はそのままで液体状になる能力を得る。実験の失敗が密かに感染していたX1ウイルスの為だと知った彼は、その能力で各種研究機関の機密をねらう盗賊となる。

アメコミ用語の基礎知識™**ベインシティ**

災厄によって干上がった湾内に建設された都市。湾内で発見された巨大クレーター研究のため建造されたDGD研究開発プラントを中心に、バイオ系企業の学研都市へと発展した。20年ほど前に発生したバイオハザードの影響を一番受けた都市である。

DGD

遺伝子保護局DNA Guardian Divisionの略。主に遺伝子工学について研究している国立の研究機関で、世界的にも有名。

ネクタリスベイスン

湾内の巨大クレーターの別称。落下物本体は中心の地下にまだ埋没しており、多国籍企業共同体による発掘プラントが建造され、埋没物の発掘、研究が盛んに行われている。

出土した埋没物については最重要機密扱いであり、プラントからの発掘物は「素体」と呼ばれている。

素体

ネクタリスベイスン最深部において発見された超巨大恒星間宇宙船の残骸。現在では、数千年前に地球に飛来した未知の異星人のものだと分析されている。各種研究機関によってそのテクノロジーの解析が熱心に行われており、DGDはその指揮をとっている。

バイオハザード

DGD施設から漏出したウイルスによって引き起こされた世界最大の人災。X1ウイルスと名付けられた致死性の高いウイルスによって感染、発病した者の9割は死亡した。残り1割も命は取り留めても遺伝的傷害を受ける。

神代

世界最大の日系多国籍企業。ありとあらゆる事業において常にトップ3に食い込んでいる超一流企業である。関連企業は数百を越える世界で一番有名な企業である。

表向きは非常にクリーンな企業だが、暗躍するエージェントが多数存在すると言われる。

X1ウイルス

感染者の遺伝子を書き換えるウイルス。「*」マークで表されることが多い。生存者の大半は異形の姿に変貌する。まれに超常能力を得るものがあるが公的には確認されていない(ことになっている)

発病の条件としては、多くの仮説が学会で発表されているが、感染者に重度のストレスが生じたときに発病するという説が、現在の主流である。

軌道エレベーター

軌道と地上をつなぐ架け橋。災厄後の高度成長のシンボル。現在も軌道側と地上側で工事が進んでいる。

軌道エレベーター倒壊事故

公式発表では隕石が接続フックに衝突したものとされる。ただし、情報のあちこちに巧妙に隠された工作が発見されている。

事故直前、空にぶつかりあう赤と青の光を目撃したという証言が存在する。

超人兵士計画「プロジェクトαtoΩ」

世界各国でほぼ同時に行われた(とされる)軍事計画。人を越える兵士を人為的につくる計画と噂される。新大陸を巡る戦争に投入されたという記録も非公式ながら存在する。

ミュータント

X1ウイルスの犠牲者。遺伝子レベルで身体が変異したもの。能力は親子であっても遺伝しないことが多い。

すべての遺伝子変異者は政府に登録しなくてはならない。登録者は、政府の管理下におかれ不自由な生活を強いられるのと、現在でも変異者に対する差別意識が根強いことから、大半の者が非登録である。

ホリナイト学園

正式名称は「HolyKnight's Youngsters Academy」。孤児や家庭の事情で教育を受けられなかった子供達を集めた全寮制の教育機関として知られている。

実際にはミュータント因子を持つ子供をあらかじめ引き取り、世間から隠して能力の使い方を教える機関。能力の高い生徒は、特別に訓練を受け、ミュータントの保護を任務とする作戦に参加している。

パラディンことアーサー・スチュワートが校長を務める。

グローバル・ウェブ・プロジェクト

トロンネットワークを構築する世界規模のプロジェクト。人間工学に基づいたインターフェイスを目指している。実験中の脳内インターフェイスにより、五感をともなった仮想現実を再現することも可能とされる。現在最新の視覚化プログラムはポリゴンで構成されたアイコンを用いたものである。

高能力障害者

元々は軍事目的で開発された義肢等を取り付けた人々。高価であることとメンテナンスが大変なことから一般にはまだ普及していない。

新大陸争奪戦争において実験的に投入され非常に高い戦果をあげた。

アライアンス

ホリナイトの呼びかけで集まった異能力者達。メンバーは基本的に登録制で、有事の際はその能力に応じて召集される。

初期メンバーはダイナモ、カウントダウン、ホーリーシンボル、パラディン、スラップスティック(予備メンバー)である。

サバインE

ベインシティにあった中流家庭向け公団住宅があった場所。20XX年7月20日。世界初のX1ウイルスの発病者がこの地域に現れた。連鎖的に発病した住民達のほとんどは即死し、生存者達の一部は異形の姿へと変異し、残りの大多数もパニックによる暴動によって命を落とした。

事態を重くみた当局は、付近一帯を隔離、生存者を含むこの区画の完全掃討作戦を計画、実行、脱出しようとする住民をことごとく焼殺した。

SLASH+

オマケの こっそり情報!

MAN IN X the Animated

来日したユタ・リンが「ないしょだよ」とこっそり教えてくれた最新情報をお送りしよう。


来春公開に向けて、MAN IN Xの劇場用長編アニメーション化が完全に決定したそうだ。

気になる内容の方はまだ教えてもらえなかったが、入手した絵コンテやインタビューから察するに、Map of the OriginとYEAR ONEからエピソードを抜き出して再構成したようだ。

アライアンスとオリジンは確認できた。その他のキャラクターの出演は微妙なところだが、ユタ・リンがどこかに紛れ込ませないわけがない。マユアは気が抜けないところだ。

映画以降、なんらかのメディアでシリーズ化する話が持ち上がっているそうなので、みんな、ぜひ応援しようぜ。

MAN IN X



the Animated

あと、配役等はまだ発表できる段階ではないそうだが、意外な人物が候補に挙がっている模様。そのうちSLASH!本誌でも特集する予定だ。

配給は、マウントウッズ・ブラザーズで全世界ネットで同時公開、HVアニメーションによって完全マルチビューに対応し、冬の公開後に販売される予定のセル・クリスではVRビューにも対応する予定だ。脚本は原作者ユタリン自らが手がけ、監督は「ナイトメア・ハンター」のブルース・バートンが予定されている。

Double SLASH! コマケ出張版

READER'S VOICE



新麻生南区/SHOW・MIRAMAR

量産タイプ100万倍カワイイ(笑) オリジナルDFありがとネ!

はいかないのはしょうがないのかも。

イワン・ハシモフの昔の作品、タタラ街で見つけました。54号でもやってたように、あの人、昔はあんな業界で食ってたんですね。知りませんでしたよ。人に歴史ありって感じ。

それと一緒に、ユタ・リンの普通のライター時代の記事も見つけたりして、ちょっと笑えました。(新東電A・B2/三笠)

あ、いーなー。NOVAに居たころのイワンって、いろいろツイでなくて、仕事はしたんだけどお金が支払われる前に倒産したとか、踏み倒されたとかあったみたい。タイヘンよね。

「Man of the Origin」のゴールド版(4巻セットで一冊となった保存版)をラッキーで入手しました、あのオリジンの最後の台詞がしびれました。

「私は死ぬわけではないし、ここから始まる物語もあるのだ、人々よ。悲しんではいけない。希望を捨ててはいけない。」

実際にはこの後、オリジンは倒れますが、他のヒーロー達が立ち上がります。涙なしには見られません。オリジン最高。

(斑鳩/XYZ&Aさん)

わたしもここに来てから、オリジナルの方で読んでいたんですが、日本語版でもやっぱり泣けました。翻訳のノリス・ローさんの名訳も詩的な感じがして、その雰囲気に乗れるってゆーか。うん、イイ作品ですよ。

今年の冬は珍しく雪が降ったりして、不思議な感じでしたね。ずいぶんロマンチックな雰囲気になったりして……とか言ってるヒマがないんですよ、いつも通り(笑) 誰かいい人いないんでしょうか。

北米から仕事の都合で移ってきたので、アメコミともサヨナラかと思っていたんですよ。NOVAもけっこうアメコミ層が厚いようで、近くのスタンドでチョコチョコ売ってるんですね。

さすがにすぐに並ぶってわけにはいかないようですが、D&D「HELLCROSS」新刊が並んでいたときは感動すら覚えました。

ニューロタングはまだ苦手なのですが、日本語版特典がけっこう北米でもレアな状態で、向こうの知り合いも頑張ってる練習とかしてます。

(GCIA・24A/ウィアード)

ありがとうございます! 本場からやってきたアメコミアンな人ですね。NOVAでもワリとすぐに新作が並ぶ店もあつたりするので、また調べたりするといいかもかもしれませんね。仕事の帰りってワケに



デザイナーAのつぶやき: 転載の許可できるいつ? どれオッケー? と聞き続けた今号。結局セールスの問題でオリジンのカットは1点しか使用出来ず。ラフも同一カットというは…残念。

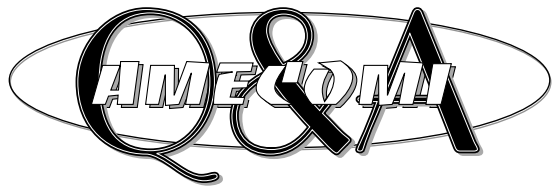
シッターD: なんか字が小さいですね。スペースも小さいし。近況報告。ようやく7冊ドンジョンを突破。まだ4つ目のクエストを受けてないので、後編はまだノービスクラスのまま。まるで今の自分のようブルー。でも近くのBカフェの店員がムチャクチャキレイなので許す。



編集部はみ出し情報。次のコマケでは、MANZAIレポートクモジュールがオマケでついてくる予定。予定っていつたら予定。編集部がせこせこつくっているの、大きいタイトルが突如なくなってきたらムリリになる可能性大なのだ。うまくいって、実績が付けばTOY流通にのせられるんだけど、徹夜明けのハイな思考だとスケエリ画期的なシステムと思うんだけど、あとメモみると意味不明(笑) だったり全然おもろくなかったり、アレでナニな感じよ。あ、編集部近くの癖のブルックリン・カフェが出来ました。謎のメニュー多し。大勢で押し掛けて、店員がいやがるころを全種類頼んだりしてる。うーん、迷惑な客。あと、領収書もやめる(笑)

千早A/スパイラル・フォロン

アダルツをホリイ、いい感じ!



Q. グラスホッパーの修行の時の師匠が、最後のシーンでグラスホッパーと戦いますが、あの棒は、スラップスティックの物に見えるんですが、同一人物なのですか？

(中民区/悪のミュータント改め 逃さんさん・17歳)

A. 実際に、正式見解では発表されていませんが、『Rider X』紙にスラップスティックがでてこないのにも、含みがありそうで今後の展開が楽しみです。しかし年齢と、性格が異なってるのでやはり違うのかも知れませんね。

Q. 「DYNAMO」に出てくる、イノセントのどじな同級生が好きです。逃げ遅れて捕まったり、悪党の犯行現場をたまたま見ちゃったり。事件の現場にいる太っちょの少年の名前は何か？

(西斑鳩区/エレキ博士さん・16歳)

A. 彼の名前はジョーイです。DYNAMO#13号で母親と一緒に出た時に一度だけ名前を呼ばれています。でも作者のお気に入りなんですよ。うね、こんなに何回も巻き込まれるなんて。

Q. 「Countdown」で出てきたタイムマスター8、あっけなくやられて笑えました。で、8ってことは前に7人いるんですよね。分かる範囲でいいですから教えて下さい

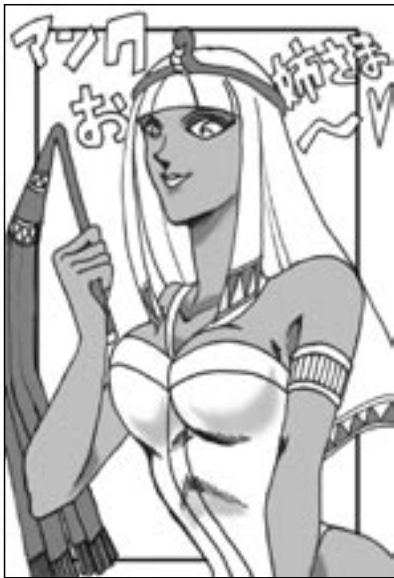
(新東電A/ウオンチュ!さん・18歳)

A. むむ。分かる範囲でとは、なかなか挑発的だね。……じつは、ユタ・リンはどうやらナニも考えてないようなんだ(笑)。来日したときに聞いたんだけど、適当なことを言ってお茶を濁していたようだから、たぶんそういうことだろう。

質問をお待ちしております。
次回をお楽しみに！

SLASH!への投稿はこちらまで
DAK3:DA9802-WM.MAGR011
環2南12sector/KOIWAIビル11F
SLASH編集部 各コーナーまで

中華街/新羅 毎回の投稿 楽しみにしてますよ〜ん(カ)



いつも通り無茶な日程をどうにかした特別号ですが、いつになく盛りだくさんな内容にみなさんは驚かれたでしょうか？ いや、驚いてください(笑) 新デスク・マーベットが走り回ったおかげです。実際、私が新シリーズの交渉で手一杯だったところを頑張ってくれて大助かり。今度また、トレフィルのインタビュー、セッティングするからな。(グラハム)

未読読者中(トビ)：「MANIX the Motel」オジジンのキャストに「Femal」のデイヴィッド・ファラデーの名前が挙がっててめいじ。どういっちゃなんだが、ちょっと狙いすぎじゃない？ とはいっても、キャラの都合があるよな。交渉が進んでるヨーヴィル監督の完璧主義は、実際かなり予算オーバーになると予想されてるし、いま完結のデイヴィッドが折れるとも思えない。他のキャストとして、パラディンがW・ライリー、レバノンに、サイファが有力とのこと。去年の夏のDASHをやったCasting Callに近い感じなのがうれしな。いや、向うの関係者、これ読んでんじやない？(笑)(ト)

責読は毎月、定期購読させてもらっております。わたくし、こう言うのはなんですが年期の入ったアメコミ者でして、若い頃の収集癖が直らないまま、年齢を重ねて参りました。

若いころはストリートプライスをチェックしながら街中を探し回ったものです。コンベンションにはずいぶん顔を出していないのですが、今でもアーティストの生原稿など販売しているのでしょうか？ 定年後にヒマが出来れば、直に出かけようと考えております。

(GCIA/匿名希望)

うわ！ ちょっとこの人、ムチャクチャ著名人じゃないですか！ すいません、匿名希望ですけど、あの人って年期の入ったアメコミ者だったんですね……見る目変わっちゃったな。ってみなさんにはわからないんですよね(笑)。へへん、役得役得。

さて、今回のDouble SLASH!は前の方の特集の都合上、縮小状態でお送りしました。なにせ、後ろにはプライスガイドも控えていますね。

とりあえず、今回の読者コーナーはこれで終わりです。投稿とかお待ちしてますので、リアル/ウェブなんでもカムカムですので、どんどんお寄せください。毎月抽選で5名サマに、当社特製のアメコミシールをお送りします。その時しかないんで、けっこうレアなんだって！ それではっ！

編集部(トビ)：半分ほど新型に移行して参ります。おかげさまで、チェックの速度もダンチ。もうメロメロ。その分、動かないアリアドナさんのことを考えると、今のうちでPCでのご対応をお願いしたいので、どうかお考えください。前のマシンの2.4倍のベンチマークを叩き出すのは快感(トビ)：これでPKに復帰出来るってなんだ。(カオ)

(校)までゲーム禁止！(カオ)

FATE COMICS STREET PRICE GUIDE

WHAT YOUR COMICS WOULD BE WORTH IF, LOVER DON'T THROW THEM OUT

俺は未だにフェイト・コミックスがあること自体、何かの間違いだって気がするな。信じられるか？ 紙の本だぞ？ 手でめくるんだぞ？ テキスト・オブジェクトも持ってねえ、検索もフィルタリングもできないハードコピーだぞ？

金持ち相手の骨董商売ならともかく、安値で売って儲けが出るってんだから、世の中間違ってる。

まあ災厄からこっち、世の中間違えばなしだから、これくらいで丁度いいのかもしれないけどな。

世の中が間違ってるなら、正しいのはフェイト・コミックスだ。

ああそうそう、コミックってのは、旧世界の表現形式……主に社会階層の底辺ではいづってる、脳味噌のヌルい連中が麻薬代わりに使ってたやつだ。オタクにピタリだろ？

キンキラのヒーローが、同じくらいキンキラの悪を倒す、わかりきった話をイラストと文の組み合わせで描いていたらしい。イラストだって紙だから2Dだ。しかもオブジェから起こすんじゃなくて、最初から最後まで全部人間が手で描いたっていうからスゲーじゃねえか。まあそんなのが20年も30年も続いたらしーんだ、これが。

フェイト・コミックスは、そんなバッド・テイストを忠実に再現した。「フェイテッド・ワールド」の中じゃ、ヒーローは常に悪に勝ち、正義と真実とノース・アメリカン・ウェイが幅を利かせてる。

俺が思うに、多分、そこが受けたんだ。追随する会社は、「リアルさ」「高尚さ」だのをタネに迫ったが、どいつもこいつも追いつけなかった。

そこで登場するのが「MIXユニバース」だ。こいつは、フェイト・コミックの新ブランドで、コンスタントに売れてる「フェイテッド・ワールド」とは何の関係もない。ウリは、「よりリアルな世界描写」と「高尚な芸術的テーマ」、それに「緻密な人間像」と来たもんだ。売れるわきゃないよな。

けど、最初に言った通り、世の中ってのは間違ってる。こいつが売れに売れた。

ま、ここでポイントなのは、「MIXユニバース」自体は、高尚でも芸術的でもないってこと。そう見えるだけだ。やってることはいつものドタバタ騒ぎ。

リアルってのは、時間がそのまま流れて人が年を食うこと。4年経っても高校生ってんじゃあんまりだからな。

緻密な人間像ってのは、ヒーローが、自分の存在意味について長セリフで悩んで、ちょびっと暴力的で、時々悪党を殺してしまうあたりだ。

あー、そこで悩んで、コミック初心者。フェイテッド・ワールドじゃあ、ヒーローは悪党を殺さないんだ。どんな凶悪犯でも逮捕して警察に引き渡すだけ。牢獄に入った悪党はしばらく出てこなくなると、いずれ著作権切れになる前に脱獄して再挑戦するんだが、誰も気にしない。ふう。それに比べりゃ「リアル」って言ったって間違っちゃいないよな。

高尚な芸術的テーマってのは見たことがないが、きっと定価ってのの横にある数字だろうな。こんなわかりきったバカ話に大金出してつきあってる自分ってなあ悩むに値するテーマだからな。

そんなわけで、この本も芸術的テーマをとことん追求してる。恋人にバレる前に売っ払っちゃいたいNEW GENESIS#1~#6をたたき売ったらいくらになるのか、フェイト・コミックス50周年記念、Man of the Origin#1スーパー・レア・リアル・パルプ・エディション(全100部印刷のために、モノホンの木を20本使ったって噂)がどれくらい値崩れしたのかまでばっちりだ。

そんなもんオンラインでリサーチかければすぐわかるって？ おいおい、そう言うなって。言っただろ、芸術だよ、芸術！

それに、この本があるおかげで、店主と店先で値切り交渉をするって楽しみが得られるんだからさ。

それじゃ、今回も行ってみよう！

Man of the Origin

- 01 : Man In X¥1200 ↑
- 02 : Infinity Power¥800-
- 03 : Original Sin¥800-
- 04 : Man of the Origin¥1400-
- 01-04a : Man of the Origin
GOLD Pack¥3600-
- 01e : Man In X / Super Rare Real
Pulp Edition¥942000 ↓

MAN IN X MANUALBOOK

- 01 : ALLIANCE¥1200-
- 02 : NEW GENESIS¥800-
- 03 : EPISODE & VILLAIN¥800-

DYNAMO

- 01 : Awaken¥300-
- 02 : Penetrator¥300-
- 03-06¥200-
- 07 : Armored CORE¥400-
- 08-09¥200-
- 10 : MISSILE PACK¥400 ↑
- 11 : AGAINST DEAD¥300-
- 12 : TIME after TIME¥400-
- 13-15¥200-
- 16 : Blue Destiny¥400-
- 17 : THE 8th HERO TEAM¥400-
- 18-21¥200-
- 22 : Super ROBOT WAR¥300 ↓
- 23-28¥200-
- 29 : Savage Giant α¥400 ↑
- 30 : Savage Giant Ω¥400 ↑
- 31-33¥200-
- 34-38 : Innocent Songs001-005
(Kenny Mirror Wr)¥300-
- 39-41¥200-
- 42 : Resort Island Panic¥400 ↑
- 43-46¥200-
- 47 : Reborn WarLoad¥300-
- 48-52¥200-
- 47 : Infinity / Initialize¥400-

NEMESIS

- 01 : Avenger¥600 ↓
- 02 : Fallen Angel¥400-
- 03 : CannonBall¥200 ↓
- 04-06¥200-
- 07 : Falling Down¥300-
- 08-010¥200-
- 11 : King of the Beast¥300 ↑
- 12-14 : Marders Song1-3¥300-
- 15-16¥200-
- 17 : Six Fleet¥400-
- 18 : Name of the God¥600 ↓
- 19-22¥200-
- 23 : Double side City
(Otto Baldor Wr)¥700 ↓
- 24-25¥200-
- 26 : Bishop & Knight¥400 ↑
- 26 : Wizards & Gunner¥300-
- 27-31¥200-
- 32 : Immoral Immortal¥300 ↑
- 33-35¥200-
- 36 : Avengers Again¥200 ↓
- 37-41¥200-
- 42 : Whip Edge WarLoad¥300-
- 43-49¥200-
- 42 : Infinity / Reset¥300 ↑

Countdown to the Adventure

- 01 : 00:00¥800 ↑
- 02 : 00:01¥400-
- 03 : ClockWork Night¥300-
- 04-08¥200-

- 09 : Lonely Fighter¥300-
- 10 : DROPSHOT¥300-
- 11 : DEAL BREAKER¥300-
- 12-13¥200-
- 14 : Time to Time again¥400-
- 15-16¥200-
- 17 : Atrantic Patient¥300-
- 18-21¥200-
- 22 : BEAST WARS¥400 ↑
- 23-26¥200-
- 27 : 2010¥300-
- 28 : METALS¥300-
- 28 : HEADMASTERS¥400 ↓
- 29-32¥200-
- 37 : UnderWorld Kings¥400 ↓
- 38 : Coins (Y.YUGAWA Wr) ...¥700-
- 39-42¥200-
- 43 : Under Arrest¥400-
- 43 : EX-Driver¥400-
- 44-47 :¥200-
- 48 : P.I.N.E. FinalStrike.....¥400-
- 49 : Infinity / Restart¥400 ↑

SEVEN SEALS

- 01 : Sister¥800 ↑
- 02 : Trinity¥400-
- 03 : Metropolitan Express.....¥300-
- 04-08¥200-
- 09 : Garnet¥300-
- 10 : Metropolitan Express.....¥300-
- 11-15¥200-
- 16 : A.D.A.M.S.¥300-
- 17 : DivaDance¥400-
- 18 : Name of the God¥200-
- 19-21¥400-
- 22-26¥200-
- 27 : Bye Bye Summer¥300-
- 28 : Burning N.E.¥400-
- 29 : Angel Heart¥400 ↑
- 31-33¥400-
- 34 : mine.¥400 ↑
- 35 : TRAUMA¥500-
- 36 : Brainwash¥300-
- 37 : Reborn¥400-
- 38 : Patriarch Conspiracy¥700-
- 39-44¥200-
- 45 : Glory Days¥400-
- 46 : Infinity / Paradox.....¥400 ↑

Excalibur

- SE00 : Sir Knight¥1000 ↓
- 01 : Around the Knight¥1000-
- 02 : Urgent Mission¥600-
- 03-05¥200-
- 06 : Q the Marquis¥600-
- 07-09¥200-
- 10 : BlackLights¥300-
- 11 : POINT IMPACT¥400 ↑
- 12 : Dirty Boys¥200-
- 13 : Time to Hunt¥600 ↑
- 14-18¥200-
- 19 : Clue¥300-
- 20 : Clue2¥400-
- 21 : Clue Reverse¥400-
- 22-26¥200-
- 27 : True Romance¥400-
- 28-30¥200-
- 31-32 : Danger Girls 1/2¥400 ↓
- 33 : BattleChasers¥400-
- 34-38¥200-
- 39 : Princess Proceed¥400-
- 40-41¥200-
- 42 : NightWing¥300-
- 43 : BlackWing Marmaid¥300-
- 44-46¥200-
- 47 : Infinity / the First.....¥400 ↑

NEW GENESIS

- 01 : New Generations¥600 ↑
- 02 : BroadSword Edge¥300-
- 03-04¥200-
- 05 : Fate's Fate¥400 ↓
- 06 : MixNuts¥300-
- 07-09¥200-
- 10 : TIME of CHRONICLES ...¥300 ↑

WILD / SLAPSTIKK

- SE : Time Trip Alian¥1200-
- SE : Time Trip Alian 2¥800 ↓

666

- 01 : Rafael¥2500 ↑
- 02 : BATTALION¥700-
- 03 : DOOM¥500-
- 04 : BLOOD CARNIVAL¥500 ↑
- 05-08¥400-

RIDER X

- 01 : VIOLATOR¥1100 ↑
- 02 : ONE HAND SHOT.....¥600-
- 03 : Vanish Garnish¥500-

YEAR ONE

- 01 : Basin City¥600-
- 02 : Limbo¥500-
- 03 : Liberation¥500 ↑
- 04 : Code X¥700-
- 01-04a : YEAR ONE Special Pack¥2700-
- 05 : Nectaris Basin.....¥400-

PackeMon v.s. Man In X

- SE01 : Get the GELETIS (with SpCard)¥1200 ↑
- SE02 : Mirror World (with SpCard)¥1600 ↑
- SE03 : Tower World (with SpCard & Case) ...¥1600 ↑

GODIMELLA / Man In X

- SE : MartianWarrior.....¥2400-

Man In X in TOKYO

- SE01 : ASAKUSA¥1800 ↑
- SE02 : TOWER of TOKYO ...¥2000 ↑
- SE03 : Field Games¥1200 ↑

BlackAGE : Man In X

- 01 : Escape from TOKYO.....¥400 ↑

ArmorLIGHT vs Man In X

- 01 : Megadeath Baroque¥400-
- 02 : Burret Burrage Barcarole.....¥600-
- 03 : WingDing Project¥600-

Holy Knight Tale Special

- 01 : Rainy Day¥800 ↓
- 02 : Snow Queen¥600 ↑
- 03 : Christmas in Poler¥600 ↑

DYNAMO / KUROGANE

- 01 : IRON GIANTS.....¥400-

SeaKING / ANQUE / Kick the Tarot

- SE : MONSTER ! MONSTER !¥400-

注意!

この同人誌は、「仮想世界の中の情報誌」をイメージしています。現実に刊行されているアメコミや団体、個人とは関係ありません。

注意2!

テーブルトークRPG「トーキョーN◎VA」(アスキー刊)をモチーフにしていますが、正味5%くらいしか使っていません。単なる(ニセ)アメコミシリーズ情報誌としてお読みください。アメコミ好きな方なら万事オッケーであります。

注意3!

N◎VAのオフィシャル設定とはマッタク関係ないので注意。>ノバラーの皆様

日頃あまり縁がないアメコミ風イラストが描かれて、楽しかったです。また呼んで下さい。(ハ)	闇が深く暗いほどに光はその輝きを増す。十分に暗く深い闇を生み出せたでしょうか。(デ)	また、深夜のガトでデッチアップしましょう。ねえ、ユタ・リン先生(笑)	俺はどこだ...これは誰だ...これはナニだっ。部長、ブレテの日付くらい教えて下さいよ(便)
編集後記といってもオレ、大した事してないんですが。一応、ファンク担当しました。(蠅)	アメコミとは程遠いイラストでごめんなさい~(泣) 修行せねば。(翔)	情報の海からアタリをつけて物語を自分の頭で作る。そいつがアメコミ読みの心意気!(海)	最近のHIT作品は「カウ&チキン」のんきな毎日でいい感じ。(ウソ) (しま)
※作り直したかったんですが、他の手を取られましてしか、2年立っちゃいました。(あ)	入稿1時間前前に書いてます。印刷所に迷惑をおかけしてはげないのにな。同業だしな(あ)	なんかたくさんキャラクタを描いて、ひとのキャラを描くのは難しいと思いました。(ゆ)	毎度です。私信ですがあまおかさん今度はダンクレーサーのコースが欲しいです。(はブ)

編集後記

奥付

誌名

発行日/初版
二刷

発行
印刷所

企画

編集・進行・制作

執筆

絵描き

連絡先

SLASH! 8+

2000.08.12

2002.08.10

のぼ通 & LogicSYSTEM

POPLS

早城菱人

あまおか勇太

あまおか勇太

いわしまん

御矢

海法紀光

しまやん

早城菱人

OTO

御矢

鏡健一郎

篠原透

翔みなら

悪魔っ娘大好き! 47agDragon

橋本晋

蛸邑カズヒロ

べんーあきやまん

山尾ゆか

行丘あい

〒648-0094 和歌山県橋本市

三石台2-21-16

林 敏啓

hishito@cypress.ne.jp

http://www.cypress.ne.jp/hishito

トーキョーN◎VAは有限会社ファアーイースト・アミューズメント・リサーチ及び有限会社ゲーム・フィールドの著作物です。

MAN IN X
SPECIAL CROSSOVER

「Who Killed Origin?」

「オリジンは誰が殺したの？ それは私と男が言った」

現在と過去。そして未来。
時の流れは絶対だと言う人々に私は問う。
時を超越した存在からは時の流れもただの点に過ぎないのだと。
全ての時代は同時に起こり、過ぎ去って行くのだ。
時が未来に過ぎると誰が決めたのだ。

私は全てを語ろう、真実の時間を。

(ある古ぼけた日記よりの抜粋、書き人不明)



08.12
コミックマーケットプレイスにて
日米同時発売

FATE COMICS
WOODSMOUNT